

## ＜婚姻費用分担請求調停を申し立てる方へ＞

### 1 概要

別居中の夫婦の間で、生活費（婚姻費用）の分担について話し合がまとまらない場合には、家庭裁判所に調停の申立てをして、婚姻費用の分担を求めるすることができます。また、一度決まった婚姻費用であってもその後に事情の変更があった場合（収入が増減した場合や子が進学した場合など）には婚姻費用の額の変更を求める調停を申し立てることができます。

調停手続では、調停委員会が、申立人（あなた）及び相手方から事情をお聴きしたり、書類等を提出していただきたりして、双方の収入や子に必要な費用がどのくらいあるのかといった事情を把握し、婚姻費用の算定表を参考にしながら、双方の合意を目指して話し合いを進めます。

話し合がまとまらず調停が不成立になった場合には自動的に審判手続が開始され、裁判官が、一切の事情を考慮して、審判をすることになります。

※ 婚姻費用の算定表は、次のサイトに掲載されていますので、参照してください。

[http://www.courts.go.jp/tokyo-f/saiban/tetuzuki/youikuhi\\_santei\\_hyou/index.html](http://www.courts.go.jp/tokyo-f/saiban/tetuzuki/youikuhi_santei_hyou/index.html)

### 2 申立てに必要な費用

- 収入印紙・・1200円
- 連絡用の郵便切手・・合計 1,100 円分  
(内訳 140 円×1枚, 84円×10枚, 10円×10枚, 1円×20枚)

### 3 申立て時や調停進行中の提出書類等とその取扱い

#### (1) 申立て時の提出書類等

- 申立書 3通

→申立書は、法律の定めにより相手方に送付しますので、裁判所用、相手方用、申立人用の控えの3通を作成してください。なお、裁判所の窓口に3枚複写式の申立書用紙がありますので、ご利用ください。

- 申立書には、相手方に開示できない住所を記載しないでください。

- 事情説明書 1通
- 連絡先等の届出書 1通
- 進行に関する照会回答書 1通
- 夫婦の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通（申立人と相手方が内縁関係の場合は不要です。）  
→戸籍謄本等は3か月以内に発行されたものを提出してください。

#### (2) 調停進行中の提出書類等

##### ① 必ず提出していただく書類等

次の書類は、第1回調停期日までに提出してください。

- 収入に関する書類等

→源泉徴収票写し、給与明細写し、確定申告書写し、非課税証明書写し等、申立人の収入が分かるもの

- 過去の婚姻費用に関する取決めや支払状況に関する書類等

→過去の審判書、判決書、調停調書等

##### ② その他の提出書類等

特別な費用（子の私立学校の授業料等）に関する書類等が考えられますので、必要に応じて提出してください。

※ 事案によっては、このほかの書類等を提出していただくことがあります。

### (3) 上記(2)の提出書類等の提出方法

- ・ 婚姻費用分担請求調停事件は、当事者双方がお互いの経済状況を理解した上で話し合いを進める手続です。そのため、書類等を提出する場合には、裁判所用及び相手方用としてコピーを2通を提出するとともに、調停期日には申立人用の控えを持参してください。
- ・ 書類等の中に相手方に知られたくない情報がある場合で、家庭裁判所が見る必要がないと思われる部分（住所秘匿の場合の源泉徴収票上の住所等）は、マスキング（黒塗り）をしてください。（裁判所用及び相手方用のコピー2通全て同様に作成してください。）
- ・ マスキングができない書面については、「非開示の希望に関する申出書」に必要事項を記載し、その申出書の下に当該書面をステープラー（ホチキスなど）でとめて、一体として提出してください。相手方にその書面等を交付するか否かについては、裁判官が判断することになります。

※ この提出方法は、婚姻費用分担請求調停事件での取扱いです。他の事件では取扱いが異なる場合があります。

### (4) 提出された書類等の閲覧・謄写（コピー）

相手方から閲覧・謄写（コピー）の申請があった場合、これを許可するかどうかは裁判官が判断します。そのため、「非開示の希望に関する申出書」が提出されている場合であっても、閲覧・謄写が許可される可能性があります。

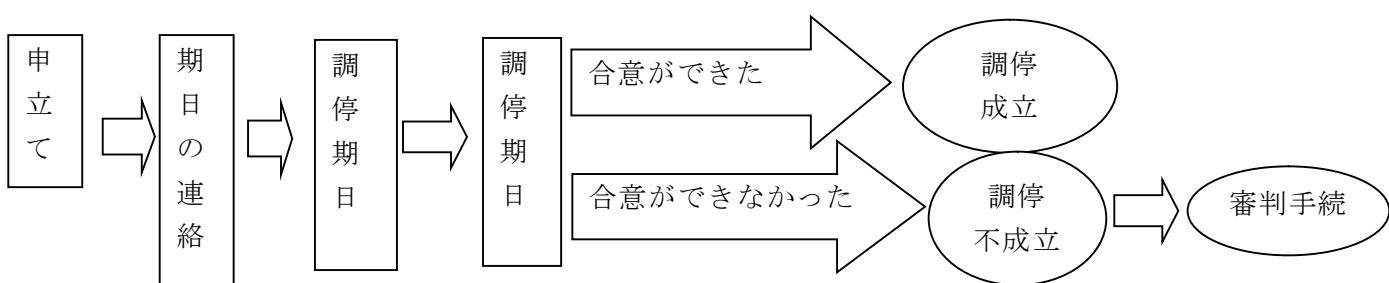
また、調停が不成立となって審判手続が開始された場合、審判のために必要な書類等については、調停手続では閲覧・謄写の申請が許可されなかった書類等であっても、改めて閲覧・謄写の申請があれば、法律の定める除外事由がない限り許可されます。

## 4 申立先

相手方の住所地を管轄する家庭裁判所となります（ただし、相手方との間で担当する家庭裁判所について合意できており、申立書と共に管轄合意書を提出していただいたときには、その家庭裁判所でも対応することができます。）。

## 5 調停の進め方について

調停の流れは下図のとおりです。調停は平日に行われ、1回の時間はおおむね2時間（進行によっては更に長くかかる場合もあります。）程度です。申立人待合室、相手方待合室でそれぞれお待ちいただいた上で、交互又は同時に調停室に入っていただきます。調停委員が中立の立場で、双方のお話を聞きしながら話し合いを進めています。



この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 <input checked="" type="checkbox"/> 家事 申立書 事件名 <input type="checkbox"/> 審判	<input checked="" type="checkbox"/> 婚姻費用分担請求 <input type="checkbox"/> 婚姻費用増額請求 <input type="checkbox"/> 婚姻費用減額請求
-----	---	--

この申立書を提出する裁判所名

印紙	円	
予納金	切手	円

(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)

印紙

(貼った印紙に押印しないでください。)

この申立書を作成した日

千葉家庭裁判所 御中  
令和〇〇年〇月〇〇日

申立人  
(又は法定代理人など)  
の記名押印

甲野花子 

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります) <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍謄本（全部事項証明書）（内縁関係に関する申立ての場合は不要） <input checked="" type="checkbox"/> 申立人の収入に関する資料（源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税所得証明書等） <input type="checkbox"/>	
------	---	--

申立人	住 所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 千葉市〇〇区×××〇丁目〇番〇号 ハイツ(〇〇〇)			相手方に知らせててもよい 住所を記載し、併せて「連絡先等の届出書」を提出してください。  連絡先を相手方に秘匿したい場合には、同届出書に「非開示の希望に関する申出書」を付けて提出してください。
	フリガナ 氏 名	コウノハナコ 甲野花子			
相手方	住 所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 千葉市〇〇区×××〇丁目〇番〇号 〇〇アパート〇〇号(方)			大正〇〇年〇月〇日生 昭和〇〇年〇月〇日生 平成〇〇歳)
	フリガナ 氏 名	コウノタロウ 甲野太郎			
対象となる子	住 所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他( )			平成〇〇年〇月〇日生 令和〇〇年〇月〇日生 平成〇〇年〇月〇日生 令和〇〇年〇月〇日生 平成〇〇年〇月〇日生 令和〇〇年〇月〇日生
	フリガナ 氏 名	コウノイチロウ 甲野一郎			
	住 所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他( )			
	フリガナ 氏 名	コウノジロウ 甲野次郎			
対象となる子	住 所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他( )			年 月 日生 令和〇〇年〇月〇日生
	フリガナ 氏 名				

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、申立人又は相手方が監護養育している子を記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

# この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。  
□の部分は、該当するものにチェックしてください。

金額がはっきりしないときは、「相当額」を選択してください

## 申立ての趣

(  相手方 /  申立て人 ) は、(  申立て人 /  相手方 ) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの (  調停 /  審判 ) をします。

※ 1 每月 (  金 〇〇〇 円 /  相当額 ) を支払う。

2 每月金 ..... 円に増額して支払う。

3 每月金 ..... 円に減額して支払う。

初めて同居をした日

別居している場合、直近の別居をした日

## 申立ての理

### 同居・別居の時

昭和 年 月 日 同居を始めた日 ..... 平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 別居をした日 ..... 昭和 年 月 日  
令和

## 婚姻費用の取決めについて

1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無

あり (取り決めた年月日 : 平成・令和 年 月 日) なし

2 1で「あり」の場合

(1) 取決めの種類

口頭 念書 公正証書 → 家庭裁判所 (□支部 / 出張所)  
平成・令和 年(家)第 号  
調停 審判 和解

(2) 取決めの内容

(相手方 / 申立て人) は、(申立て人 / 相手方) に対し、平成・令和 年 月 から ..... まで、毎月 ..... 円を支払う。

## 婚姻費用の支払状況

現在、毎月 ..... 円が支払われている (支払っている)。

平成・令和 年 月 ころまで、毎月 ..... 円が支払われていた (支払っていた)

が、その後、( 減額された (減額した) / 支払がない (支払っていない)。)

支払はあるが、一定しない。

これまで支払はない。

## 婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情 (増額・減額の場合のみ記載してください。)

申立て人の収入が減少した。 相手方の収入が増加した。

申立て人が仕事を失った。

申立て人自身・子にかかる費用 (学費 医療費 その他) が増加した。

その他 (.....)

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	<input type="checkbox"/> 調停 <b>家事 申立書 事件名</b> <input type="checkbox"/> 婚姻費用分担請求 <input type="checkbox"/> 審判 <input type="checkbox"/> 婚姻費用増額請求 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 婚姻費用減額請求	
<small>(この欄に申立て 1 件あたり収入印紙 1,200 円分を貼ってください。)</small>		
収入印紙	円	
予納郵便切手	円	
<small>(貼った印紙に押印しないでください。)</small>		

千葉家庭裁判所 御中 令和 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
---------------------------	-----------------------------	---

添付書類	<small>(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)</small> <input type="checkbox"/> 戸籍謄本（全部事項証明書）（内縁関係に関する申立ての場合は不要） <input type="checkbox"/> 申立人の収入に関する資料（源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税証明書等の写し） <input type="checkbox"/>	準口頭
------	--	-----

<b>申立人</b>	住 所	〒 — ( 方 )		
	フリガナ	氏 名	大正 年 月 日生	昭和 年 月 日生
<b>相手方</b>	住 所	〒 — ( 方 )		
	フリガナ	氏 名	大正 年 月 日生	昭和 年 月 日生
<b>対象となる子</b>	住 所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ( )	平成 年 月 日生	( 歳 )
	フリガナ		令和 年 月 日生	( 歳 )
	住 所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ( )	平成 年 月 日生	( 歳 )
	フリガナ		令和 年 月 日生	( 歳 )
	住 所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ( )	平成 年 月 日生	( 歳 )
フリガナ		令和 年 月 日生	( 歳 )	

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、申立人又は相手方が監護養育している子を記入してください。の部分は、該当するものにチェックしてください。

# この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。  
□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申立ての趣旨
( □ 相手方 / □ 申立人 ) は、( □ 申立人 / □ 相手方 ) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの ( □ 調停 / □ 審判 ) を求めます。
※ 1 每月 ( □ 金 ..... 円 / □ 相当額 ) を支払う。
2 每月金 ..... 円に増額して支払う。
3 每月金 ..... 円に減額して支払う。

申立ての理由
同居・別居の時期
昭和 同居を始めた日…平成 年 月 日 別居をした日… 平成 年 月 日 令和 ..... ..... ..... 令和 ..... ..... .....
婚姻費用の取決めについて
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無 □あり (取り決めた年月日：平成・令和 年 月 日) □なし
2 1で「あり」の場合 (1) 取決めの種類 □口頭 □念書 □公正証書 → [家庭裁判所 ..... (□支部 / □出張所) □調停 □審判 □和解 → [平成・令和 年(家)第 号] (2) 取決めの内容 (□相手方 / □申立人) は、(□申立人 / □相手方) に対し、平成・令和 年 月 から ..... まで、毎月 ..... 円を支払う。
婚姻費用の支払状況
□ 現在、毎月 ..... 円が支払われている (支払っている)。 □ 平成・令和 年 月 ころまで、毎月 ..... 円が支払われていた (支払っていた) が、その後、( □減額された (減額した) / □支払がない (支払っていない)。) □ 支払はあるが、一定しない。 □ これまで支払はない。
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情 (増額・減額の場合のみ記載してください。)
□ 申立人の収入が減少した。 □ 相手方の収入が増加した。 □ 申立人が仕事を失った。 □ 申立人自身・子にかかる費用 (□学費 □医療費 □その他) が増加した。 □ その他 ( ..... )

令和 年(家)第

号

## 事情説明書(婚姻費用分担)

この書類は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックを付け(複数可)、必要事項を記入の上、申立書とともに提出してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

令和 年 月 日 申立人 \_\_\_\_\_

1 今回あなたがこの申立てをした「きっかけ」「動機」を書いてください。								
2 調停で対立すると思われるることはどんなことですか。 (該当するものに、チェックしてください。複数可。)	<input type="checkbox"/> 申立人の収入の額 <input type="checkbox"/> 相手方の収入の額 ※「婚姻費用分担請求調停を申し立てる方へ」を参照し、収入に関する書類等を提出してください。 <input type="checkbox"/> 申立人にかかる費用の額 { <input type="checkbox"/> 医療費 <input type="checkbox"/> その他 ( ) } <input type="checkbox"/> 子にかかる費用の額 { <input type="checkbox"/> 大学、私立小中高校の学費 <input type="checkbox"/> 医療費 <input type="checkbox"/> その他 ( ) } <input type="checkbox"/> 婚姻費用の決めの有無や内容 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
3 それぞれの同居している家族について記入してください(本人を除く。)。  ※申立人と相手方が同居中の場合は申立人欄に記入してください。	申立人(あなた)			相手方				
	氏名	年齢	続柄	職業等	氏名	年齢	続柄	職業等
4 収入状況について記入してください。	月収(手取り) 約 万円	月収(手取り) 約 万円	賞与(年回) 計約 万円	賞与(年回) 計約 万円	<input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 万円	<input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 万円	<input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 万円	<input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 万円
5 住居の状況について記入してください。	<input type="checkbox"/> 自宅(ローン月額 円) → <input type="checkbox"/> 申立人口相手方が、ローンを支払っている。			<input type="checkbox"/> 自宅(ローン月額 円) → <input type="checkbox"/> 申立人口相手方が、ローンを支払っている。			<input type="checkbox"/> 当事者以外の家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸(賃料月額 円) → <input type="checkbox"/> 申立人口相手方が、賃料を支払っている。	
	<input type="checkbox"/> その他( )			<input type="checkbox"/> その他( )				

令和\_\_\_\_年(家\_\_\_\_)第\_\_\_\_\_号(期日通知等に書かれた事件番号を書いてください。)

## 連絡先等の届出書

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

申立人 相手方

氏名: \_\_\_\_\_ 印

### 1 送付場所

標記の事件について、書類は次の場所に送付してください。

- 申立書記載の住所  
次の場所です。

〒\_\_\_\_\_ (部屋番号や○○様方等も正確に記入してください。)

場所と本人との関係: 住所 就業場所(勤務先)

その他 \_\_\_\_\_

### 2 電話番号(平日の昼間に連絡がつく電話番号)

- 携帯電話番号: \_\_\_\_\_
- 固定電話番号(自宅/勤務先): \_\_\_\_\_
- どちらに連絡があつてもよい。  
できる限り、携帯電話/固定電話への連絡を希望する。

\* 1, 2について非開示を希望する場合には、「非開示の希望に関する申出書」を作成して、その申出書の下にこの画面をステープラー(ホチキスなど)などでとめて、一体として提出してください。

\* 連絡先等について非開示を希望する場合には、開示により当事者や第三者の私生活・業務の平穏を害するおそれがあると理解して、原則として開示しない取扱いになっておりますので、他の理由がなければ、「非開示の希望に関する申出書」の第2項(非開示希望の理由)に記載する必要はありません。

令和 年 (家 ) 第

号

## 進行に関する照会回答書（申立人用）

【 この書面は反対当事者等  
には開示されません。】

この書面は、調停・審判を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(複数可)、空欄には具体的な事情等を記入して、申立ての際に提出してください。

令和 年 月 日 申立人 \_\_\_\_\_

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> ない(その理由をチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じると思う。 <input type="checkbox"/> 応じないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)	
3 調停・審判は円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 <input type="checkbox"/> 進められないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)	
4 この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。		
5 当事者双方の勤務先があれば書いてください。	申立人 勤務先の名称 :  相手方 勤務先の名称 :		
6 相手方の暴力等がある場合には、記入してください。	1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る・暴言をばく。 <input type="checkbox"/> 物を投げる。 <input type="checkbox"/> 殴る・蹴る。 <input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す。 (1) それはいつ頃のことですか。 <span style="margin-left: 2em;">頃から ----- 頃まで</span> (2) 頻度はどのくらいですか。 <span style="margin-left: 2em;">回 ----- 回</span> 2 相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (ケガや症状等の程度) 3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定はない。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定である。 <input type="checkbox"/> 申し立てたが、まだ結論は出でていない。 <input type="checkbox"/> 申し立てたが、認められなかった。 <input type="checkbox"/> 認められた。※保護命令書の写しを提出してください。 4 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。		
7 調停・審判期日の差支え日等があれば書いてください。	申立人の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 差支え日 曜日 午前・午後 <span style="margin-left: 2em;">曜日 午前・午後</span> <span style="margin-left: 2em;">曜日 午前・午後</span> <span style="margin-left: 2em;">(すでに差し支えることが分かっている日→ )</span>		
※ 調停・審判は平日の午前または午後に行われます。	相手方の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 差支え日 曜日 午前・午後 <span style="margin-left: 2em;">曜日 午前・午後</span> <span style="margin-left: 2em;">曜日 午前・午後</span> <span style="margin-left: 2em;">(※分からなければ記載しなくともかまいません。)</span>		
8 当事者双方の立会いのことで、裁判所から調停手続に関する説明をすることにつき、支障があれば、具体的な事情を記入してください。			
9 8のほか、裁判所に配慮を求めることがあれば、その内容を書いてください。			